

# 能郷白山で採集した小型哺乳類

杉山隆則

## Small Mammals Collected around Mt. Nogohakusan, Central Honshu, Japan

Takanori SUGIYAMA

### 1 はじめに

本巣郡根尾村能郷白山における小型哺乳類の調査研究は、これまでほとんどなされていないのが現状である。

「岐阜県における哺乳類の生息状況と環境教育」(1984年岐阜県哺乳類動物研究会)において、根尾村におけるヤマネの生息をあげているが、他の小型哺乳動物の記載はされていない。また、岐阜県の動物(1974年岐阜県高等学校生物教育研究会)においては、養老・揖斐の哺乳類の中で、ホンドハタネズミ、ニホンドブネズミ、ホンドハツカネズミなどのげつ歯類は、どこでも見られるとしている。さらに、揖斐山系の坂内村・藤橋村(旧徳山村含む)の地内ではエジプトネズミ(ヨウシュクマネズミ)が発見されていると報告している。しかし、越美(美濃)山地の最高峰である能郷白山一帯での小型哺乳類の調査は皆無に等しく、調査報告がなされていないのが現実である。

筆者らは、根尾村能郷白山に生息する小型哺乳類の種組成とその生態分布の基礎資料を得ることを目的に調査を行った。1992年10月から1993年11月にかけて、本巣郡根尾村根尾西谷川～温見峠～能郷白山山頂、能郷谷～前山～能郷白山山頂を中心に調査して得られたデータを報告する。

### 2 調査方法

調査は、岐阜・福井県境に位置する能郷白山(1617.3m)の岐阜県本巣郡根尾村地区である。調査地点は、図1で示す14地点(A～N)を設定した。調査回数は、1992年10月から1993年11月の期間に4回実施した。捕獲器具は、プラスチック製のスナップトラップ(以下トラップ)を使い、エサは皮付きピーナッツを用いた。1調査地点でのトラップ数は、30～70個とした。ただし、ネズミの巣穴が発見された地点では、上限に近い数(70)を設置した。トラップは前日の夕方までに設置し、小型哺乳類が活動すると思われる夜の間放置し、早朝に調査・回収するという方法をとった。

トラップの設置・回収にあたり、1992年は中島恬、説田健一、1993年は前田伸、説田健一、杉山隆則が担当した。



### 3 調査地点

A: 能郷谷登山口周辺

(標高700m～730m)

能郷白山(1,617m)

登山口は、一般車両の駐車場である。周辺は、砂防ダムによって、開けている。大きな石の下などに設置した。

B：能郷白山登山道1合目周辺  
(標高950m~1,000m)

登山道に入ると急な登りが20分ほど続くが、急な登りも緩やかになり、チシマザサ等のササ類が多くなる。ササ類の中に設置した。

C：能郷白山登山道2合目周辺 (標高1,200m)  
ブナの樹木が自生している。ブナの倒木やブナの根元に設置した。

D：能郷白山登山道3合目周辺 (標高1,300m~1,320m)  
ササ類の中とかブナ林の根元に設置した。

E：能郷白山登山道4合目周辺 (標高1,460m)  
4合目は前山に登る尾根筋にあたり、大きな岩の下とかブナの根元に設置した。

F：能郷白山登山道5合目鞍部 (標高1,400m)  
ナナカマド、ブナなどが自生している。この地点は、前山を巻いてやや下ったところで、鞍部となっている。従って、登山道もぬかるんでいるが、比較的乾燥しているササ類の中に設置した。

G：能郷白山山頂付近 (標高1,590m~1,610m)  
能郷白山山頂の岐阜県側は、自然植生のササ自然草原である。この草原一帯に設置した。

H：能郷白山道H地点 (標高1,500m付近)  
比較的平坦な登山道が続く地点である。やや鞍部となっているところのササ類の中や倒木の下に設置した。

I：能郷白山登山道I地点 (標高1,400付近)  
この付近は、カタクリの群生が見られるところである。倒木の回りや樹木の根元のネズミの巣穴と思われるところに設置した。

J：能郷白山登山道J地点 (標高1,300m付近)  
岩石の点在する地点で、大きな石の下とかダケカンバの根元に設置した。(ウグイス等の野鳥の観察に適したところである。)

K：能郷白山登山道K地点  
(標高1,200m付近)  
急な登山道を登っていくとタムシバの白い花が目につく地点である。このタムシバの木の根元やササ類の中に設置した。

L：温見峠  
(標高1,000m~1,060m)  
岐阜県と福井県境にある温見峠は、春にはカタクリの花が咲くなど、峠周辺は開けた草原状を呈している所もある。トラップは、峠一帯に広く設置した。

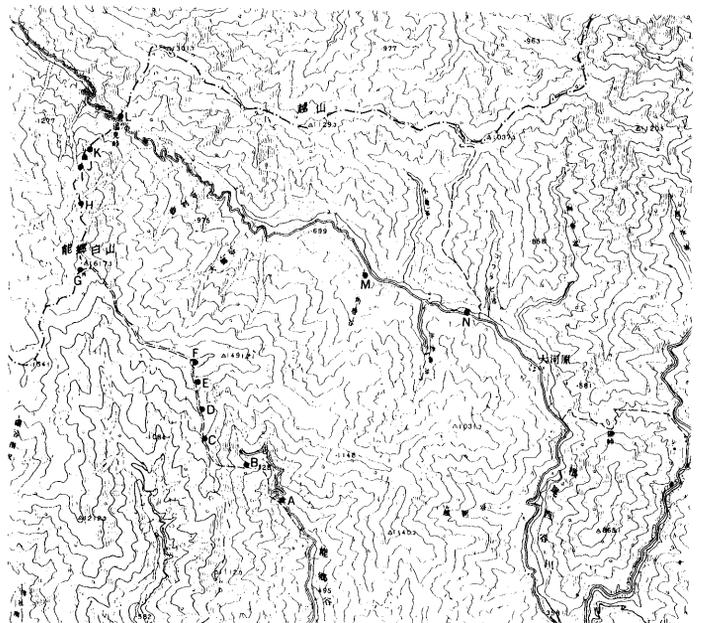


図1 調査地点の地図

M：根尾西谷小倉谷出合付近

(標高700m～730m)

ブナの大木が多く生育している。ブナの根元やネズミの巣穴と思われるところに設置した。

N：根尾西谷大河原上流 (標高550m～600m)

県道157号線脇の川原に設置した。ここは砂防ダムの上部にあたり、川原が広がっており、川  
の中心部以外は、普段は水の流れないところである。

#### 4 採集データ

##### (1) ヒメネズミ *Apodemus argenteus*

No.	採集地点 Locality	採集年月日 Date	性別 Sex	体重 Weight (g)	全長(mm) Total length	尾長 Tail (mm)	後足長 Hind foot (mm)	耳長 Ear (mm)
1	B 登山道 1 合目	1992, 10, 22~23	♂	20	181	98	20	12
2	N 根尾西谷大河原	1993, 5, 21~22	♂	15	170	89	17	13

##### (2) スミスネズミ *Eothenomys smithi*

No.	採集地点 Locality	採集年月日 Date	性別 Sex	体重 Weight (g)	全長(mm) Total length	尾長 Tail (mm)	後足長 Hind foot (mm)	耳長 Ear (mm)
1	M 西谷小倉谷出合	1993, 5, 21~22	♂	22	136	45	18	11

##### (3) アカネズミ *Apodemus speciosus*

No.	採集地点 Locality	採集年月日 Date	性別 Sex	体重 Weight (g)	全長(mm) Total length	尾長 Tail (mm)	後足長 Hind foot (mm)	耳長 Ear (mm)
1	C 登山道 2 合目	1993, 11, 9~10	♂	26	203	79	23	11

##### (4) ホンドハタネズミ *Microtus monetbelli*

No.	採集地点 Locality	採集年月日 Date	性別 Sex	体重 Weight (g)	全長(mm) Total length	尾長 Tail (mm)	後足長 Hind foot (mm)	耳長 Ear (mm)
1	G 能郷白山山頂	1993, 11, 9~10	♂	36	143	33	17	10
2	G 能郷白山山頂	1993, 11, 9~10	♂	27	135	36	16	11
3	G 能郷白山山頂	1993, 11, 9~10	♂	30	142	33	16	10
4	G 能郷白山山頂	1993, 11, 9~10	♂	25	120	32	16	10

(5) ヒメヒミズ *Dymecodon pilirostris*

No.	採集地点 Locality	採集年月日 Date	性別 Sex	体重 Weight (g)	全長(mm) Total length	尾長 Tail (mm)	後足長 Hind foot (mm)	耳長 Ear (mm)
1	D登山道3合目	1993, 11, 9~10	♂	9	100	28	15	—
2	E登山道4合目	1993, 11, 9~10	♂	10	116	43	16	—

(6) ヒミズ *Urotrichus taipoides*

No.	採集地点 Locality	採集年月日 Date	性別 Sex	体重 Weight (g)	全長(mm) Total length	尾長 Tail (mm)	後足長 Hind foot (mm)	耳長 Ear (mm)
1	A登山口周辺	1992, 10, 22~23	—	18	115	30	15	—
2	A登山口周辺	1992, 10, 22~23	—	18	120	34	14	—
3	A登山口周辺	1992, 10, 22~23	—	17	120	27	17	—
4	A登山口周辺	1992, 10, 22~23	—	16	117	30	16	—



採集したスミスネズミ  
(根尾村西谷小倉谷出合)

## 5 参考文献

- 西脇正雄, 1974. 養老・揖斐の哺乳類. 岐阜県高等学校生物教育研究会編 岐阜県の動物. 大衆書房
- 梶浦敬一, 1984. 岐阜県哺乳動物調査研究会編 岐阜県における哺乳類の生息状況と, その環境調査及び環境教育にかかわる研究. 岐阜県哺乳動物調査研究会
- 今泉吉典, 1985. 原色日本哺乳類図鑑, 保育社
- 北原正宣, 1986. ネズミ けものの中の超繁栄者. 自由国民社
- 中島 恬, 1989. 旧徳山村で採集した小型哺乳類 旧徳山村地域動植物調査報告書. 岐阜県博物館
- 中島 恬, 1990. 白山東斜面で採集した小型哺乳類 岐阜県博物館調査研究報告書第11号. 岐阜県博物館